

# ～早池峰地域をユネスコエコパークに登録しよう～

平成28年度地域政策研究センター（地域提案型・後期）採択課題

課題名：早池峰ユネスコ・エコパークの登録促進に関する研究

研究代表者：総合政策学部 教授 渋谷 晃太郎

課題提案者：早池峰フォーラム実行委員会

研究メンバー： 中嶋敬治、望月達也（早池峰フォーラム実行委員会）

技術キーワード：早池峰地域 ユネスコエコパーク

## ▼研究の概要（背景・目標）

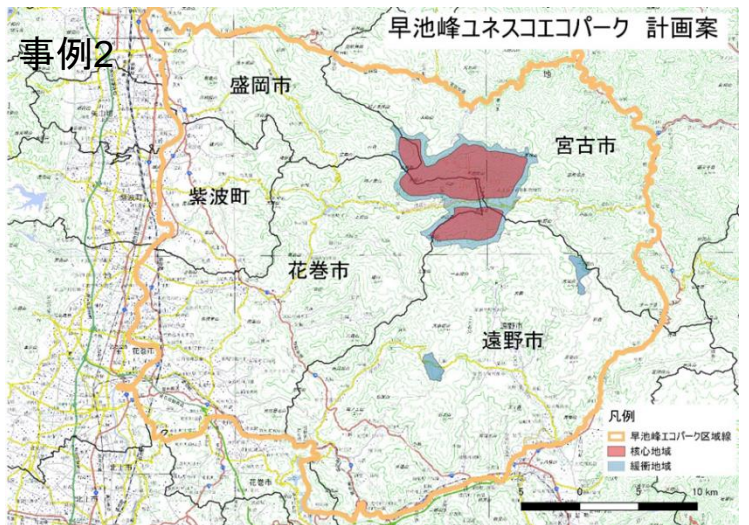
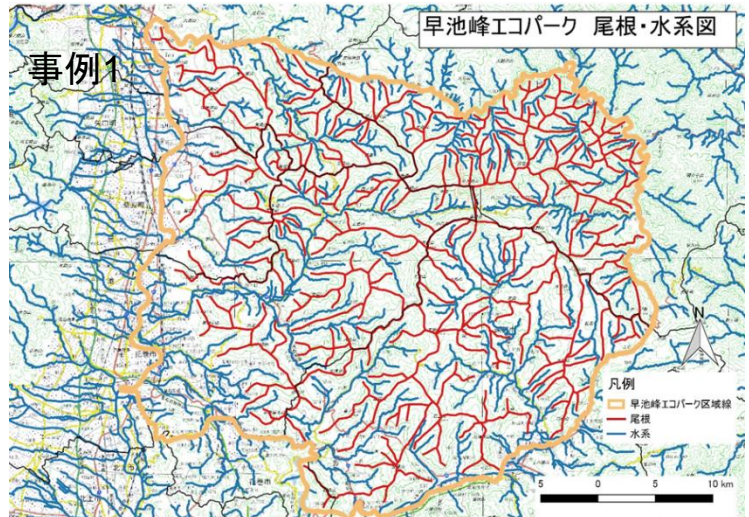
早池峰地域の自然環境、歴史文化等のさまざまな地域資源調査を基に、早池峰エコパーク計画案を策定し、その妥当性を検討するとともに、ユネスコエコパークの認知度を向上させるために市民向けのフォーラム等を開催しました。

## ▼研究の内容（方法・経過）

1. 文献調査
2. 現地調査（早池峰地域）
3. 池峰フォーラム、写真展の開催
4. 只見ユネスコエコパークでの聞き取り調査
5. 認知度等に関するアンケート調査

## ▼研究の成果（結論・考察）

1. 早池峰エコパークの計画案を提示しました
2. 早池峰地域はユネスコエコパークの登録基準に合致しており十分登録に値すると考えられます
3. ユネスコエコパークの認知度はかなり低いいため、今後とも市民むけのフォーラムなどを開催し、認知度の向上を図る必要があります。
4. 市民むけフォーラム-ラムの開催により参加者のユネスコエコパークの認知度は深まりました。
5. 先進地只見町では、行政が主導しユネスコエコパークの登録を行っている。早池峰地域でも行政への働きかけをさらに進める必要があります。



## ▼おわりに（まとめ・今後の展開）

1. 本研究で実施したフォーラムにより、ユネスコエコパークの理解度は高まりました。今後とも継続して実施する必要があります。
2. ユネスコエコパークは行政が主導しないと登録できません。行政の理解を深める必要があります。
3. ユネスコ協会など多くの関係団体と協力して登録の促進を図ります。